

2018年7月31日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

インターネットマーケティングサービス会社「リーチローカル・ジャパン」社に投資

ニューホライズン キャピタル株式会社(本社 東京都港区、取締役会長 安東泰志、以下「NHC」)が管理運営するニューホライズン 3号投資事業有限責任組合(NH-3)は、中小企業へのWebマーケティングサービスを主たる事業とするリーチローカル・ジャパン社(本社 東京都港区、代表取締役 CEO 小林治郎、以下「リーチローカル」)への投資の実行に向け株式譲渡契約を平成30年7月27日に締結致しました。本件は米国企業グループからリーチローカルが資本的に独立して日本市場でのきめ細かなニーズに応えるべく日本仕様を強化し更なる成長フェーズを迎える同社の成長支援とIPOを視野に入れる同社の経営ガバナンスの強化を目的としたものです。

リーチローカルは、日本国内の中小企業を対象として、インターネットの検索を経由した集客を支援するサービスを提供し、2,000社以上の運用実績があります。インターネットを活用した集客のノウハウがない中小企業に対して、ツールだけの提供ではなく、企画・運用・レポート・改善まで一貫したソリューションの提供を行うことで中小企業の成長を支援するインターネット広告代理業を主事業としております。

リーチローカルの特徴は、(1) インターネット上で検索した際に広告として表示されるリスティング広告に、同社独自で電話番号を発番できるシステムを組み合わせることで、インターネット上での集客結果のみならず、電話を通じた問い合わせや集客結果までを追うことができ、更には対応内容の改善まで行えること、(2) インターネットでの集客のノウハウがない中小企業に対して、企画立案からシステム運用、改善までフルサポートのサービスを提供できること、(3) 今後の成長が見込まれる中小企業を対象としたインターネット広告市場において、2,000社以上の導入実績があることなどが挙げられます。

NHCはリーチローカルの経営陣らと協力し、同社事業の更なる成長を支援し、中小企業の成長もサポートしてまいります。

以上

<ニューホライズン キャピタル株式会社>

成長支援、産業再編、事業再生のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から 2006 年 10 月の会社分割を経て通算 15 年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,600 億円超）を背景に、NHC として 3 本目、創業から 8 本目のファンドを運営しています。2002 年以來、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、SnSnap、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション など、開示可能なエクイティー投資先だけで 約 40 社、全体では 約 100 社超の日本随一の投資実績を有しています。

この件に関する問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、野並 連絡先：03-5532-8921